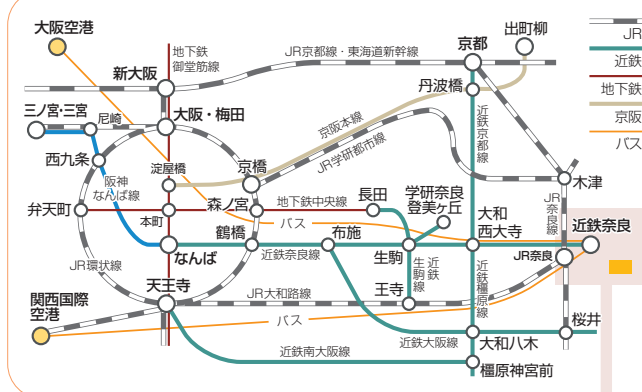


奈良教育大学アクセスマップ

主要駅から奈良までの所要時間

大阪	約50分	京都	約45分
なんば	約35分	三宮	約80分



近鉄奈良駅・JR奈良駅より市内循環バス(約10分)で高畑町(奈良教育大学)下車

このリーフレットは概略版です。詳細な数値や情報につきましては、大学概要 2018 (URL: <http://www.nara-edu.ac.jp/guide/bulletin/>)や 本学ホームページ(URL: <http://www.nara-edu.ac.jp/>)をご覧ください。

特に記載のない限り、掲載データは平成 30 年 5 月 1 日現在

編集・発行 / 国立大学法人奈良教育大学
〒630-8528 奈良市高畑町 TEL 0742-27-9104
E-mail kikaku-kouhou@nara-edu.ac.jp
奈良教育大学ホームページ <http://www.nara-edu.ac.jp/>

建物配置図 教育学部・附属小学校・附属幼稚園



建物情報 奈良教育大学・附属小学校・附属幼稚園

R 1 理科1号棟 Research Building (Science 1)	R 10 美術・書道実習棟 Research Building (Arts & Calligraphy)	1 本部管理棟・保健センター Administrative Building / Health Care Center	10 学生会館・山田ホール Students Hall / Yamada Hall
R 2 理科2号棟 Research Building (Science 2)	R 11 文科学 Research Building (Humanities)	2 図書館 Library	11 学生食堂 Cafeteria
R 3 技術棟 Research Building (Technology)	R 12 文芸棟 Research Building (Humanities & Arts)	3 次世代教員養成センター1号館(奈良教育大学連携推進)	12 特別支援教育研究センター Center for Special Needs Education
R 4 新館1号棟 Research Building (PE)	R 13 次世代教員養成センター2号館 Research Building (School of Professional Development in Education)	4 次世代教員養成センター2号館 Teacher Education Center for the Future Generation 2	13 理数教育研究センター Center for Educational Research of Science & Mathematics
R 5 新館2号棟 Research Building (Mathematics & Pedagogy)	L 1 講義1号棟 Lecture Building 1	5 情報館 Information Processing Facilities	14 国際交流留学センター Center for International Exchange & Studies
R 6 新館3号棟 Research Building (Japanese)	L 2 講義2号棟 Lecture Building 2	6 教育資料館 Museum for Historical Materials of Education	15 審美館 Neisakuken Hall
R 7 音楽棟(B) Research Building (Music)	L 3 講義3号棟 Lecture Building 3	7 講堂 Auditorium	16 舞踊場 Dance Hall
R 8 音楽棟(A) Research Building (Music)	L 4 講義4号棟 Lecture Building 4	8 武道場 Arts Gymnasium for Martial	17 課外活動共用施設 Common Facility for Extracurricular Activities
R 9 美技棟 Research Building (Arts & Tech.)		9 体育館 Gymnasium	18 弓道場 Japanese Archery Field

設備情報

エレベーター	多目的トイレ	食堂・売店	AED
バス停留所	駐車場	案内	階段昇降機

国際交流

国際交流協定締結校



海外派遣留学生(平成29年度出国)

派遣先大学	人数
セントラルミシガン大学(アメリカ)	1
リヨン第三大学(フランス)	2
ハイデルベルク大学(ドイツ)	1
計	4

外国人留学生

区分	韓国	中国	ドイツ	フランス	ブルガリア	ルーマニア	アメリカ合衆国	ブラジル	マラウイ	計
研究留学生										1
教員研修留学生	1							2	1	4
日本語・日文化研修留学生				1		2				3
学部学生	1	2								3
大学院学生		20								20
学部研究生			9							9
大学院研究生										0
特別聴講学生	6	1	1			2	3			13
計	2	37	1	2	1	4	3	2	1	53

地域連携

ならやまオープンセミナー

地域や市民の皆様を対象とした公開講座、セミナー、シンポジウムなどを開催しています。詳細は <http://www.nara-edu.ac.jp/graduate/courseindex/> をご覧ください。

平成30年度開講講座

講座名	対象
教職員のための公開講座	現職教員
米つくり体験学習	小学生(3年生以上)・中学生及びその保護者
親子で学ぶ奈良: まんじゅうを食べるなら(奈良)	小学3年生~中学3年生の子どもと保護者、合わせて40名
(他3講座)	

フレンドシップ事業

教員の養成段階において、本学学生が様々な体験活動を通して子どもたちとふれあい、子どもたちの気持ちや行動を理解し、実践的指導力の基礎を身につけることを目的に、様々な事業を実施しています。詳細は <http://www.nara-edu.ac.jp/general/friendship%2023index.html> をご覧ください。

平成30年度実施事業

事業名	対象
書道を楽しもう	高校生60名
飛行コンテスト	小学生(4~6年生)25名
わくわくアートプロジェクト	曾爾村立曾爾小学校児童

オープン・クラス

大学を生涯学習の場として活用するという社会的要請に応えるほか、地域社会と大学との連携を深めることを目的に、大学の一部授業を学生と共に受講いただけるようにしています。(平成 30 年度受講者数) 00 科目 のべ 00 名
詳細は http://www.nara-edu.ac.jp/graduate/open_class/ をご覧ください。

学校図書館司書教諭講習(文部科学省委託事業)

学校図書館司書教諭資格のために必要な「学校経営と学校図書館」、「情報メディアの活用」、「読書と豊かな人間性」、「学習指導と学校図書館」、「学校図書館メディアの構成」の講習を開催しています。(平成 29 年度受講者数) 00 科目 のべ 000 名
詳細は <http://www.nara-edu.ac.jp/students/books.html> をご覧ください。

教員免許状更新講習

奈良県内の大学・短期大学・その他の機関と連携して、教員のニーズに応じた多様な講習を実施しています。(平成 29 年度受講者数) 必修: 4 科目 のべ 000 名
選択必修: 49 科目 のべ 0,000 名
選択: 19 科目 のべ 000 名

教育職員免許法認定講習(文部科学省委託事業)

特別支援学校並びに小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校の教員を対象に、特別支援学校の教育職員免許状を取得するために必要な講習を開催しています。(平成 29 年度受講者数) 3 科目 のべ 000 名

施設利用

講堂、グラウンド、テニスコートや講義室などを、地域や市民の催しなどでご利用いただけます。(ただし、本学・授業、課外活動などの関係上、ご希望に添えない場合があります。)詳細は http://www.nara-edu.ac.jp/general/facility_utilization.html をご覧ください。

教育研究に係る連携協定

教育や研究、学生ボランティアの派遣などについて、奈良県内外の教育委員会や各機関と連携協定を締結しています。

協定先	主な目的等
奈良県	「地域の教育力」を再生する方策に関する調査・研究
奈良県くらし創造部	「地域の教育力」モデル地域調査事業 実践総合センターと県立教育研究所との、いじめ、不登校問題等教育課題への取組に係る連携 教育連携に係る包括協定
奈良県教育委員会	県立青翔高校との実践的共同研究と理数教科教育の充実、科学者、技術者の養成
奈良県立平城高等学校	教育連携協定
奈良県立高田高等学校	教育連携協定
奈良県立山辺高等学校	理数プロジェクト高大地域連携事業に関する協定
奈良県立青翔中学校・高等学校	理数プロジェクト中大地域連携事業に関する協定
京都大原学園(小中一貫校)	教育連携協定
奈良市	教育連携に係る包括協定 教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 幼稚園・小学校・中学校への学校教育活動支援事業(スクールサポート)と相互の教育支援・充実 「先導理数プログラム」推進事業 包括協定事項追加(教員養成GP「健闘の場」) 学科指導教室「ASU」への学生(学習リテラシー)派遣と相互の教育支援・拡充 教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力
奈良市教育委員会	教育連携に係る包括協定
大和郡山市	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力
天理市	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力
生駒市	教育連携に係る包括協定
曾爾村	包括連携協定に関する協定
平群町	包括連携協定に関する協定
山添村	包括連携協定に関する協定
奈良工業高等専門学校	教育研究等の協力協定
奈良女子大学	教員養成の高度化に関する連携協定
帝塚山大学	教員養成の高度化に関する連携協定
天理大学	教員養成の高度化に関する連携協定
奈良大学	教員養成の高度化に関する連携協定
京都府教育委員会	小中学校への学生派遣による支援、学生の資質向上と実践的指導力の育成 教員を目指す学生等の資質向上と実践的指導力の育成
京都市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
陸前高田市教育委員会	連携協力に関する協定
茨木市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
八尾市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
柏原市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
千早赤阪村教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
堺市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
羽曳野市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
東大阪市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
交野市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
神戸市教育委員会	「スクールポーター制度」実施に係る協定
高エネルギー加速器研究機構	教育研究等の協力
奈良市(新)リクルートホールディングス	奈良市立高等学校を対象とした教育改革推進の企画、実行に関する協定
教員研修センター	連携・協力に関する協定
五條市	五條市と奈良教育大学との包括連携協力に関する協定
奈良県立総合教育センター	奈良教育大学、奈良県立総合教育センター及び奈良県教育委員会の連携協力に関する協定書

単位互換に係る連携協定

協定先	協定締結年月日	主な目的等
放送大学	平成14年3月13日	学部単位互換
帝塚山大学、天理大学、奈良大学	平成20年3月10日	奈良県内大学間での学部単位互換
奈良県立大学、奈良県立医科大学		
奈良学園大学、奈良女子大学		
京都教育大学、大阪教育大学	平成25年3月21日	京阪奈三教育大学学部単位互換
奈良女子大学	平成7年12月25日	大学院単位互換
滋賀大学、京都教育大学	平成8年1月30日	大学院単位互換
大阪教育大学、和歌山大学		

広報誌「ならやま」

本学の教育実践、研究内容、学生の活動状況等を受験生やその保護者等に紹介するための広報誌を発行しています。



機能強化経費採択状況

文部科学省は、第3期中期目標期間(平成28~33年度)において、国立大学の機能強化の方向性に応じた3つの枠組み(本学は「①地域貢献」を選択)により重点支援を行うこととされました。

区分	事業名称	採択年度	事業(計画)期間
プロジェクト	教育委員会・学校・地域との組織的連携・協働により、教員養成・研修機能を強化する。	平成28年度	6年
プロジェクト	現代的教育的課題に対応するプロジェクトを組織し、その研究成果を発信・展開する。	平成28年度	6年
プロジェクト	ESD(持続可能な開発のための教育)を核とした教員養成・研修の高度化 →次世代の教員に求められる資質・能力の向上を目的に-【基幹経費化】 理数教育再創生のための教員養成および研修機能の拡充【基幹経費化】 学校教育体系全体を視野に入れたインクルーシブ教育システムの構築と合理的配慮・ユニバーサルデザイン教育の開発	(6年)※ (6年)※ (6年)※	

※()内は、取組予定期間

附属学校部

本学における児童、生徒又は幼児の教育又は保育に関する研究、並びに教育実習計画に従い学生の教育実習を実施するため、附属中学校、附属小学校及び附属幼稚園を設置しています。

総定員	学級数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計
附属中学校	456	12	133	150	149			432
特別支援学級	24	3	6	6	6			18
附属小学校	540	18	90	88	86	87	81	88
特別支援学級	24	3	4		5		6	14

総定員	年齢	学級数	3歳児	4歳児	5歳児	計
附属幼稚園	132	3歳児	1	24		25
		4歳児	2		43	
		5歳児	2			55

奈良の地でー
学び創造、学び発信。



奈良教育大学
2018年 大学概要



なつきよん
LINE スタンプ
好評販売中!



ユネスコ・スクール加盟校
本学は、ユネスコが推進している理念を学校現場で実践することを目的としている「ユネスコ・スクール」に、平成19年、日本の大学として初めて加盟しました。



目的

奈良教育大学は、学芸の理論とその応用とを教授研究し、高い知性と豊かな教養とを備えた人材、特に有能な教育者を育てるとともに、この地方に特色のある文化の向上を図ることを目的としています。

基本的な目標

奈良教育大学は、創立以来の学問・学芸を尊ぶ学風を継承し、学芸の理論とその応用とを教授・研究することにより、豊かな人間性と高い教養を備えた人材、特に有能な教員を養成して、我が国の教育の発展・向上に寄与することを社会的使命とします。第3期中期目標期間においては、ミッションの再定義を踏まえ、地域の義務教育諸学校の教員養成機能に関して中心的役割を果たします。さらに、「学び喜びを知り、自ら学び続ける」教員の養成を志向するユネスコスクールとしての実績を発展させ、持続可能な開発のための教育の推進拠点としてその理念に立った研究と実践を進めることにより地域の教育の発展・向上に寄与します。

特色（奈良教育大学の3つの柱）

1.「少人数教育」による教育・研究の充実

本学は、対話形式を重視した学生参加型の授業、研究室ゼミにおける懇切丁寧な卒業論文指導を行っています。小規模大学の特性を生かした「少人数教育」に基づく充実した指導によって、確かな学力の基盤のうえに、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力といった学びを創造し、その成果を発信する力を着実に身につけることができます。本学の卒業生に対するアンケート結果では、本学で学び、本学を卒業したことへの満足度が8割を超え、その理由として学生と教員との距離が近いことが多く挙げられています。「少人数教育」は、まさに本学の特色と言えます。

2.「奈良・世界遺産」を生かした教育・研究の充実

本学は、古都・奈良の中心に位置し、豊かな自然と世界遺産を含む多くの伝統文化遺産に囲まれています。世界中から観光客が訪れるこの地でキャンパス・ライフを送ることは、国際交流、異文化理解、日本文化理解にとって、得がたい経験となります。本学は、その利点を生かして、講義や行事、教育活動において、奈良特有の自然環境や文化遺産に触れ、その理解を深めるさまざまな機会を設けています。近隣の国立博物館との交流も積極的に行っています。このような体験や学習を通して、日本の伝統文化への理解やそれを外へ発信する国際感覚を養うことができます。

3.「体験型キャリア教育」による教育・研究の充実

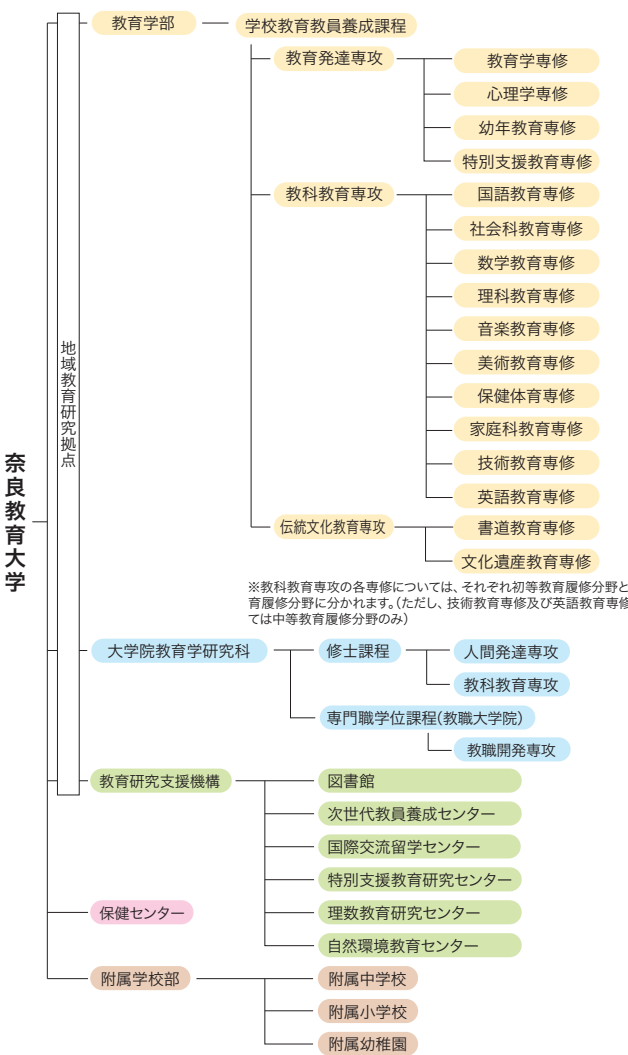
本学は、全国的先導的取組として「理数科離れ」に対応した「理数科教員養成プログラム」をはじめとして、県内各地・学校との連携による実践的で専門性に優れたキャリア教育を充実させています。また、教育委員会との連携により、学校教育支援活動として学生ボランティアによるスクールサポーターを学校・園へ派遣するなど教員養成大学の特性を活かした地域への貢献活動を行うとともに、スクールサポーターとしての力量を高めるための研修も行っています。入学から卒業まで一貫した体験学習を含むこのような取組を通して、社会から要請される実践的指導力を育成することができます。



歴史

明治 7 (1874) 年	教育伝習所として興福寺内に「事業書院」創設
明治 8 (1875) 年	奈良 (小学) 師範学校と改称
明治 21 (1888) 年	奈良県尋常師範学校創設
昭和 24 (1949) 年	国立学校設置法の公布により奈良学芸大学設置
昭和 41 (1966) 年	奈良教育大学と改称
昭和 58 (1983) 年	大学院教育研究科修士課程設置
平成 16 (2004) 年	国立大学法人法の公布により国立大学法人奈良教育大学設置
平成 20 (2008) 年	大学院教育研究科専門職学位課程 (教職大学院) 設置
	創立 120 周年 (奈良県尋常師範学校創設より)
平成 24 (2012) 年	教育学部改組 (入学定員 255 名すべてを学校教育教員養成課程で募集、総合教育課程の募集停止)
	京阪奈三教育大学連携推進室を設置
	大学附置センターを再編
平成 26 (2014) 年	大学院教育研究科を改組 (特別支援教育特別専攻科を廃止)
平成 28 (2016) 年	地域教育研究拠点を設置・教員組織の一元化
平成 29 (2017) 年	

教育研究組織機構図



教育学部紹介

学校教育教員養成課程

学校教育教員養成課程は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校といった学校種についての学びとともに、それらの枠をこえ、幼児・児童・生徒の発達を基軸にすえた実践力豊かな教員を養成する課程です。主として「義務教育を幅広く見渡すことのできる力量」「異職種に柔軟に対応できる教育的力量」「授業・教育指導のための実践的力量」「特別な支援を必要とする子どもに対する臨床的力量」「現代的課題への積極的な対応力」の形成をめざしています。

大学院紹介

教育学研究科 (修士課程・専門職学位課程 (教職大学院))

教育学研究科は、学校教育に関する学問の体系及びその応用としての教育実践、教育臨床の高度化と多様化に応えるため、教育研究の学問的基礎力と現代的な教育課題への対応力を備え、専門的な能力と優れた資質を有する高度専門職業人としての教員・教育者を養成します。また、現職教員に対する教育や研修の一層の充実をめざしています。

取得可能な教員免許状・資格

学校教育教員養成課程

- 幼稚園教諭一種
- 小学校教諭一種
- 中学校教諭一種 (国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)
- 高等学校教諭一種 (国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、工業、家庭、英語、情報^{※1}、書道^{※1})
- 特別支援学校教諭一種 (「知的障害者に関する教育の領域」「肢体不自由者に関する教育の領域」「病弱者に関する教育の領域」)
- 養護教諭一種

大学院 (修士課程、専門職学位課程)

取得しようとする専修免許状にかかる一種免許状を有する場合、必要な単位を修得すれば所属専攻・専修に応じた専修免許状の取得が可能です。

取得可能な資格

- 社会教育主事
- 学校図書館司書教諭
- 保育士 (教育発達専攻^{※2} 幼児教育専修の学生に限る)
- 博物館の学芸員
- スポーツ指導者
- 認定心理士 (教育発達専攻^{※2} 心理学専修の学生に限る)
- 教育支援人材
 - 教育支援人材 (こどもパートナー・こどもサポーター (学校活動支援)・こどもサポーター (バーチャル)・こどもサポーター (ESD)・こどもサポーター (ICT 活用))
- 学校心理士申請のための基礎資格 (大学院修士課程 教育・心理専修^{※3} の学生に限る)
- 臨床発達心理士申請のための基礎資格 (大学院修士課程 発達教育臨床専修^{※4} の学生に限る)

※1 平成24年度以降入学者のみ。

※2 平成23年度以前入学者は「教育・発達基礎コース」。

※3 平成27年度以前入学者は「教育心理学専修」。

※4 平成27年度以前入学者は「教育臨床・特別支援教育専修」。



学生数

	収容定員	男	女	計
学校教育教員養成課程	1,020	462	634 (3)	1,096 (3)
総合教育課程	—	1	0	1
教育学部計	1,020	463	634 (3)	1,097 (4)

修士課程	90	35 (7)<2>	33 (14)<6>	68 (21)<8>
専門職学位課程 (教職大学院)	50	26 <8>	24 <9>	50 <17>
大学院計	140	61 (7)<10>	57 (14)<15>	118 (21)<25>

() 内は外国人留学生数を外数で示す。< > 内は現職教員数を内数で示す。

教職員数

学長・理事	大学教員	附属学校園教員	事務職員
3	95	71	62

非常勤教職員は除く。

平成30年度入学状況

教育学部

専	修	専	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
学校教育教員養成課程	教育発達専攻	教育学専修	15	91	16	16
		心理学専修	15	96	17	14
		幼児教育専修	13	72 (1)	14	14
		特別支援教育専修	12	58	13	12
		国語教育専修	25	111	28	28
	教科教育専攻	社会科教育専修	25	119	30	29
		数学教育専修	26	122	28	28
		理科教育専修	29	90	29	28
		音楽教育専修	18	84	18	18
		美術教育専修	11	34	12	11
学校教育教員養成課程	伝統文化教育専攻	保健体育専修	19	167	22	21
		家庭科教育専修	9	64	12	12
		技術教育専修	4	47	7	6
		英語教育専修	12	72 (1)	13	13
		書道教育専修	15	112	16	16
		文化遺産教育専修	7	42	8	7
		計	255	1,381 (2)	283	273

() 内は外国人留学生数を外数で示す。() 内は帰国生徒特別入試を外数で示す。

大学院

専	攻	専	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
修士課程	人間発達専攻	人間発達専攻	9	8 (7) (2)	7 (4) (2)	6 (4) (2)
		教科教育専攻	36	31 (11) (1)	24 (10) (1)	24 (10) (1)
専門職学位課程 (教職大学院)	教職開発専攻	教職開発専攻	25	25 (9)	22 (9)	19 (9)
		計	70	64 (18) (12)	53 (14) (12)	49 (14) (12)

() 内は外国人留学生数を外数で示す。< > 内は現職教員数を内数で示す。

学生支援・学生の取組

奨学金

人物・学業ともに優秀で、かつ経済的に修学が困難と認められる学生を対象に、学費援助の一環として奨学金制度があります。

奨学生

		学部	大学院	計
日本学生 支援機構	無利子(第1種)	187	15	202
	有利子(第2種)	140	8	148
	その他	0	0	0
	計	327	23	350

入学科及び授業料の減免

経済的理由によって入学科、授業料の納付が困難で、かつ学業成績優秀と認められる者を対象として、入学科、授業料を免除及び徴収猶予する制度があります。平成28年度には、在学生の12.2%が免除を受けています。

学生企画活動支援事業

本学学生自らが企画する事業の内、優れたものに対して、大学が経済的支援等を行い、学生自身に実体験をさせることで、学生の企画力・実践力・社会性を高め、より優れた教員として、また、社会人として成長することを目的としています。

平成29年度採択事業

事業名	開催日・期間	内容	対象	場所
美園ふれあいコンサート～音楽に親しもう～	通年	地域の幼稚園・保育園や福祉施設へ行き、各施設にあった楽曲を演奏する。	地域の方、幼児等	奈良県内の幼稚園・保育園及び福祉施設等
作ってみよう! 造形ひらば～第18回「造形ひらば」～	平成30年11月22日、23日	造形活動の楽しさを知ることができ、すべての子どもが参加できる環境を提供する。	地域の児童・生徒とその保護者	本学
理科実験教室 in 奈良教育大学～夏休みで理科とちょっと仲良くなる～	通年	小規模授業と、理科実験の混合で進め、すべての子どもが参加できる実験をいくつかで、科学的な理解を深くわかりやすくかみ砕いた言葉で「実験」のようないい形で知ってもらえるようにする。	地域の児童・生徒	本学
The Merry Opera～進化し続ける20周年～	通年	学生オペラ フランク・レハール作曲「メリー・ワイドワ」	一般の方・本学学生	本学講堂
秋のおでかけ 障害のある子どもに英語を～互いに学び支え合おう～	平成30年10月27日	障害のある子どもとその保護者と学生が互いに乗り、一日おでかけし充実した時間をともに過ごす。	障害のある子どもとその保護者	京都水族館
ESD実践勉強会～お祭りのからみいへ～	通年	学生のユネスコ活動、ESD活動への興味関心を増進させるための勉強会を開催する。	本学学生	本学、奈良市青少年野外活動センター
手話 (聴覚障害者の言語) を学ぶ	通年	聴覚障害者を講師に招き、手話を学び、聴覚障害者の生活を知る。手話をはじめとするコミュニケーションの多様性や障害理解の普及に努める。	本学学生	本学
KYOU-YOUプロジェクト	平成30年8月4日～8月25日	避難所運営シミュレーションゲームを地域の方も交えておこなう。学校が避難所になった時に想定されることをゲームから考察し実際に起こった際に備える。	本学学生と奈良地区の学校や幼稚園の教員・生徒、地域の方	本学

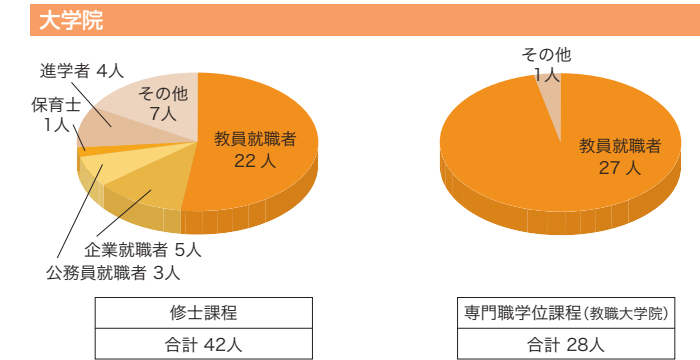
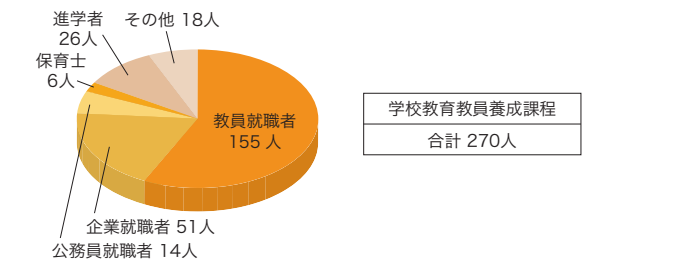
http://www.nara-edu.ac.jp/campus_life/extracurricular/planning.html

就職支援・進路

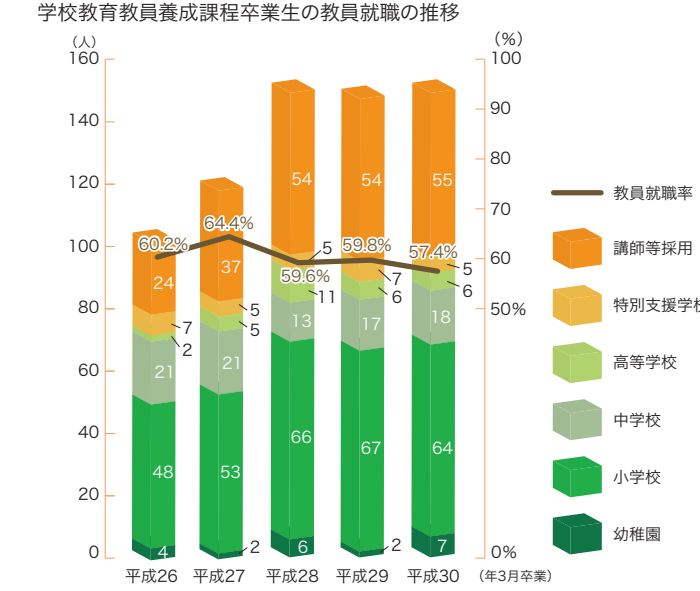
就職支援室を設置し、様々な対策講座や模擬面接、模擬授業、実技試験の練習場所開放などを行っています。また、教員採用試験受験者向けと企業就職者向けにそれぞれ就職相談員を配置しています。

卒業生の進路先

平成30年3月卒業生



過去5年間の教員就職者の推移



教育研究支援機構

図書館

教育・研究のため、図書・雑誌を揃え、学生及び教職員のほか、地域の方へも貸出しています。また、文献検索及び文献所在調査等により、調査・研究の援助を行っています。教員志望の学生が実践的教育力や指導・課題探求の向上を図るため、多様な学修活動に対応した「学修空間」として「ラーニング・commons」や「グループ学習室」、「えほんのひろば」を設置しています。

蔵書数

	図書	雑誌
蔵書数	和書(冊) 洋書(冊) 計(冊)	和書(種) 洋書(種) 計(種)
平成29年度受入数	290,850 47,227 338,077	4,987 892 5,879
蔵書数	2,985 605 3,590	555 20 575

教育資料館

我が国の学制発足以降における奈良県下の初等中等教育に関する資料を中心として、教育関係資料の収集及び展示が行われています。また、教職員及び学生による特別展や企画展も開催しています。

次世代教員養成センター

教員養成の高度化と質保証を目的とする京阪奈三教育大学連携推進事業の一環で設置された「連携拠点」の一つとして、平成25年7月1日に設置されました。ICT活用を含む実践的教育力・指導力の向上、課題探究力の向上を図るとともに、学び続ける教員の質保証に関わる事業及び研究開発を行うことにより、21世紀社会を牽引する人材である次世代の教育を担う教員の養成に寄与することを目的としています。センターは、「情報教育部門」「ESD・課題探究教育部門」「情報基盤部門」の3部門で構成されています。

国際交流留学センター

文化多様性教育に関わる実践的、理論的研究を学際的に、国際的視野を備えた教員の養成に寄与するとともに、国際交流協定大学などとの交流・連携に関わることで、派遣・受入留学生を支援し教員養成大学としての国際交流を推進することを目的としています。

自然環境教育センター

学生・児童・生徒及び地域住民に、授業、公開講座並びに自然教室などの事業を通して自然環境教育を行うとともに、それらに関する基礎的研究を行っています。

特別支援教育研究センター

特別支援教育に関わる理論と実践に関する教育研究を総合的に、特別支援教育を担う人材の育成、地域における児童生徒等の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進しています。センターには、児童精神科医、特別支援教育士SV、臨床心理士、臨床発達心理士、作業療法士などを配置しています。

理数教育研究センター

現代的教育課題である「理数離れ」に対応し、21世紀の新世代の人材育成に必要な新しい理数教育システムの構築に地域と一体となって取り組んでいます。本センターは、教材・カリキュラム開発や地域連携等の事業を推進する「教育プログラム推進部門」、オープン・サイエンス・ラボ、アドバンス・サイエンス・ラボの運営や先端的研究機関との連携等を行う「先端科学教育部門」等からなり、理数教育プログラムの開発、SST (スーパーサイエンスティーチャー) 養成、公教育の支援のほか、理工学系部門との連携や国際協力等の事業を展開しています。

保健センター

健康増進のための指導・助言を行うとともに、性格、家庭、人間関係等広く相談に応じるため、専門のカウンセラーを配置しています。

入試情報

平成31年度入試日程 (平成31年4月入学者)

教育学部	入試区分	地域枠	出願期間		試験日
			推薦入試	一般枠	
大学院教育学研究科	一般入試	前期日程	1月22日(月)～1月31日(水)	2月25日(日)	3月12日(月)
		後期日程	9月募集	9月9日(土)	
	修士課程	9月募集	8月1日(火)～8月7日(月)	2月10日(土)	2月10日(土)
		2月募集	12月1日(金)～12月7日(木)	2月10日(土)	
	専門職学位課程	9月募集	8月1日(火)～8月7日(月)	9月10日(日)	11月11日(土)
		11月募集	10月20日(金)～10月26日(木)	11月11日(土)	
		2月募集	12月1日(火)～12月7日(木)	11月12日(日)	
		2月募集	12月1日(金)～12月7日(木)	2月11日(日)	

- 推薦入試 (地域枠) とは、奈良県内の高等学校を対象とした推薦入試です。
- 教育学部一般入試は、インターネットによる出願となります。
- 詳しくは各募集要項をご覧ください。

入試情報に関するお問い合わせ先	奈良教育大学 入試課 TEL 0742-27-9126 nyuusi@nara-edu.ac.jp
-----------------	--

お問い合わせ先

- ☐ 入試に関すること (入試課) 0742-27-9126
- ☐ 学生の求人に関すること (学生支援課就職担当) 0742-27-9129
- ☐ 公開講座に関すること (企画連携課国際交流・地域連携担当) 0742-27-9108
- ☐ 施設利用 (外部貸付) に関すること (財務課総務・決算担当) 0742-27-9112
- ☐ 研究協力・産学連携、寄付金に関すること (教育研究支援課学術・研究担当) 0742-27-9135
- ☐ 図書館の利用に関すること (図書館) 0742-27-9137
- ☐ ホームページ、広報誌、その他お問い合わせ全般 (総務課総務・広報担当) 0742-27-9104

